



名古屋大学

大学院工学研究科主催

マイクロナノ・メカトロニクス研究センター セミナー

略歴

1927年生まれ。1950年、名古屋大学工学部電気学科卒。1959年、東京大学助教授(生産技術研究所)。1969年、東京工業大学教授(東京大学教授兼任)。現在、東京工業大学名誉教授、日本ロボット学会名誉会長。1992年NHK放送文化賞受賞。1994年紫綬褒章受章。1999年勲三等旭日中綬章受章。不気味の谷現象発見者。ロボットコンテスト創始者。

この間、1972年より40年以上にわたり、後藤榮山老大師(現在、臨済宗妙心寺派龍澤寺専門道場師家)に師事して、禅のみならず、仏教一般も学ぶ。

著書

「ロボット考学と人間」オーム社

「退歩を学べ」佼成出版社

「仏教新論」佼成出版社

「親子のための仏教入門」幻冬舎

他30冊ほど。

日時:2018年5月19日(土) 15:30 ~ 18:00

場所:名古屋大学 ES 総合館 ES ホール(地図は左下)

講演者

森 政弘

(本学電気学科9回生・東京工業大学名誉教授)

講演タイトル

心を故郷へ帰すー今後の科学技術に絶対必要なことー

概要

人間は、生まれたての赤子の時は、誰もが天使のような良い顔をしているのに、物心がつくにしがたって、その顔は卑しくなっていく。これは、世間に矛盾を感じたり、わがままな欲望が頭をもたげてくるからである。

この現象を、心が家出し、放浪の旅を続けていると言う。しかし無意識領域の心底には、帰巢本能という本家に帰りたいたい気持ちがあるので、そこを頼りに、本家の方へと指示・案内することが可能である。

本家に帰るとは、自然(じねん)になること、自然体に戻ることを意味する。

今後、科学技術に携わる者は、この自然(じねん)即ち自然体に帰らなければ、人類も地球も危なくなる。

講演では、この実家へ心を帰す方法と意味について、ご説明したい。

共催

日本ロボット学会ロボット考学研究専門委員会

日本生体医工学会 未来のバイオメディカルデザイン研究会 次世代内視鏡研究会

参加費 無料(事前予約は不要です)

連絡先 kamide@coi.nagoya-u.ac.jp (名古屋大学 上出)

